

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ななつば			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	人的要素	様々な専門職を配置し、ひとりひとりに寄り添った療育を提供している。	専門職が学んだ知識をスタッフ間で伝達・共有し、より良い療育につなげていく。
2	制作活動	保育士や児童支援員が主体となり、事業所内の飾りつけや雰囲気作りをしている。個性や個々に合わせた方法で活動を行っている。	今後も、行事や季節を感じられる工夫を行いながら、誰もが楽しみながら「できる」を意識した支援を行っていく。
3	個別支援計画や療育記録	5領域を柱とし、アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、日常や社会生活に添った支援計画を立案している。毎日の様子を詳細に記録し、振り返りを行っている。	保護者からの意見を聞いたり、利用児本人のニーズの把握に努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加のイベント	保護者交流や保護者を呼んでのイベントの機会を作れていない(スケジュール調整など)。	今後、保護者の意見を聞きながら、機会の調整を行っていく。
2	療育のスペースがやや狭い	楽器や玩具、寝具など様々な物が置いてある。	物品の整理整頓を行い、限られたスペースを活かせるよう整理整頓や環境作りを行っていく。
3			